

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和5年度 滋賀県がん診療連携協議会 第32回 地域連携部会																																									
開 催 日 時	令和5年7月12日(水) 16:00~16:30																																									
開 催 場 所	大津赤十字病院外来棟6階会議室、オンライン (Zoom) のハイブリッド形式																																									
出 席 者	<p>【部会員】</p> <table> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 将公 (部会長)</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>吉田 徹 (副部会長)</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>木村 由梨</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>森田 美砂</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>奥村 しづ子</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>中右 雅之</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>崎久保 守人</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>上田 修吾</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>中島 研郎</td></tr> <tr><td>淡海医療センター</td><td>戸川 剛</td></tr> <tr><td>長浜赤十字病院</td><td>原田 吉將</td></tr> <tr><td>東近江総合医療センター</td><td>赤堀 浩也</td></tr> <tr><td>滋賀県医師会</td><td>高橋 健太郎</td></tr> <tr><td>滋賀県保健所長会</td><td>小林 靖英</td></tr> <tr><td>滋賀県薬剤師会</td><td>丹波 卯子</td></tr> <tr><td>滋賀県歯科衛生士会</td><td>新 康子</td></tr> <tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>菊井 津多子</td></tr> <tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>田村 奈那子</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>野間 幸夫</td></tr> </table> <p>【事務局】</p> <table> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>仲川 直行</td></tr> </table>		大津赤十字病院	辻 将公 (部会長)	滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	木村 由梨	大津赤十字病院	森田 美砂	滋賀県立総合病院	奥村 しづ子	公立甲賀病院	中右 雅之	彦根市立病院	崎久保 守人	市立長浜病院	上田 修吾	高島市民病院	中島 研郎	淡海医療センター	戸川 剛	長浜赤十字病院	原田 吉將	東近江総合医療センター	赤堀 浩也	滋賀県医師会	高橋 健太郎	滋賀県保健所長会	小林 靖英	滋賀県薬剤師会	丹波 卯子	滋賀県歯科衛生士会	新 康子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子	滋賀県立総合病院	野間 幸夫	大津赤十字病院	仲川 直行
大津赤十字病院	辻 将公 (部会長)																																									
滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)																																									
滋賀医科大学医学部附属病院	木村 由梨																																									
大津赤十字病院	森田 美砂																																									
滋賀県立総合病院	奥村 しづ子																																									
公立甲賀病院	中右 雅之																																									
彦根市立病院	崎久保 守人																																									
市立長浜病院	上田 修吾																																									
高島市民病院	中島 研郎																																									
淡海医療センター	戸川 剛																																									
長浜赤十字病院	原田 吉將																																									
東近江総合医療センター	赤堀 浩也																																									
滋賀県医師会	高橋 健太郎																																									
滋賀県保健所長会	小林 靖英																																									
滋賀県薬剤師会	丹波 卯子																																									
滋賀県歯科衛生士会	新 康子																																									
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																									
滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子																																									
滋賀県立総合病院	野間 幸夫																																									
大津赤十字病院	仲川 直行																																									
欠 席 者	<table> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>村田 聡 (副部会長)</td></tr> <tr><td>市立大津市民病院</td><td>小池 忍</td></tr> <tr><td>済生会滋賀県病院</td><td>増山 守</td></tr> <tr><td>近江八幡市立総合医療センター</td><td>中野 且敬</td></tr> <tr><td>滋賀県医師会</td><td>樋上 雅一</td></tr> <tr><td>滋賀県歯科医師会</td><td>吉田 智一</td></tr> <tr><td>滋賀県看護協会</td><td>黒橋 真奈美</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>		滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)	市立大津市民病院	小池 忍	済生会滋賀県病院	増山 守	近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬	滋賀県医師会	樋上 雅一	滋賀県歯科医師会	吉田 智一	滋賀県看護協会	黒橋 真奈美																										
滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)																																									
市立大津市民病院	小池 忍																																									
済生会滋賀県病院	増山 守																																									
近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬																																									
滋賀県医師会	樋上 雅一																																									
滋賀県歯科医師会	吉田 智一																																									
滋賀県看護協会	黒橋 真奈美																																									
議 事 概 要	<p>1) 新部会員の紹介 (別紙添付)</p> <p>2) 滋賀県がん地域連携パス運用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県がん地域連携パス運用状況 <p style="padding-left: 40px;">登録件数について、【資料1-1】は、2010年4月~2023年3月末時点のがんパス運用登</p>																																									

録一覧表である。現在までにバリエーションや5年経過し、パス運用が終了しているものも含まれるが、合計3047件登録されている。

年度別にグラフ化したもの【資料1-2】では、2022年度は全体の登録件数は185件となり、減少傾向である。詳細に見てみると【資料1-3】、乳がんパスが2021年度1件 → 2022年度20件と増加しているが、胃がんパス（早期・進行期）、大腸がんパス（早期・進行期）、前立腺がんパスは2022年度より減少傾向である。肝臓がん、緩和ケアパスは運用されていない。

施設別【資料1-4】では、前年度と比較し10件以上増加した施設は、滋賀医科大学医学部附属病院、淡海医療センターである。また、10件以上減少しているのは、市立長浜病院、長浜赤十字病院であった。

5年経過、パス中止件数について（【資料1-5】）は、5年経過したものは988件、バリエーションとなりパス中止したものは、684件と全体の22.4%となっている。

パス中止のものを、胃がん・大腸がん、それぞれ「早期」「進行期」に分け、より詳細にみると（【資料1-6】）、胃がん進行期パスは中止率42.4%となり非常に高い。パス中止までの平均日数は、早期がんパスが長く、進行期がんパスはその約半分の日数となっている。

中止理由（【資料1-7、1-8】）は、早期がんパスについては、胃がん・大腸がん共に“患者・家族の都合”と“通院困難”が約1/3を占めており、この原因として考えられるのは、早期がんの場合、数年間、術後フォローで問題なく過ごされるとパススケジュールに則った受診をされなくなる患者さんが一定数存在すると考えられる。また、患者さん・ご家族の高齢化に伴い通院が困難となる場合も見受けらる。

進行期がんパスは、「再発・転移」がもっとも多くを占めている。ただ、連携診療が一旦途絶えても、「私のカルテ」の使用を継続していただけるようになっている。

（大津赤十字病院・辻）

資料1-1～1-4について、質問はありますか？

（滋賀県医師会・高橋）

乳がんパスの登録件数が増えている要因は？

（事務局）

滋賀医科大学医学部附属病院の運用件数が増加しているため。

（滋賀県医師会・高橋）

今まで滋賀医科大学医学部附属病院は使用されていなかった？

（事務局）

そのようなことはなく、昨年度は積極的に使用された。

(大津赤十字病院・辻)

2016年度から運用件数が減少している施設もあれば、コンスタントに使用されている施設もあるが、もし秘訣があれば教えていただきたい。

資料1-5～1-8について質問はありますか？

(全員) 特になし

3) 地域連携部会今年度の活動について

滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート

(事務局)

今年度は6カ年計画の最終年度となっている。今年度のパス運用件数は200件としている。地域連携パスの見直しについては、昨年度は胃がん、大腸がんのパスの改訂を行い、今年度は5大がん地域連携パスWGにて乳がんパスの改訂に向けて動いている。前立腺がんパス、緩和ケアパスについては、昨年引き続き改訂を検討する予定となっている。年間スケジュールについて、本部会の後、8月に5大がんパスWG、9月に前立腺がんパスWG、10月に緩和ケアパスWG、11月に5大がんパスWG、来年1月に2回目の地域連携部会の開催を予定している。

地域連携部会のPDCAについて、Plan「滋賀県がん地域連クリティカルパスの件数」、Do「地域連携パスの活用」としたいと考えている。

(大津赤十字病院・辻)

質問等ありますか？

(市立長浜病院・上田)

胃がんでESD後、外科手術が必要となった場合、パス適用外と聞いているが、なぜ適用外なのか？

(事務局)

後日確認して回答。

【上記回答】

がん治療連携計画策定料Ⅰは、『がんと診断され、がんの治療目的に初回に入院した際に地域連携診療計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、地域連携計画に基づく個別の患者ごとの治療計画を作成するとともに、説明し、それを文書にて患者又は家族に提供した場合に、退院時又は退院した日から起算して30日以内に計画策定病院において算定する。』と記載されております。

ESDで入院する際にごんと診断されている場合は、ESD入院が初回となり外科手術での入院は2回目となります。よって、外科入院時にごん治療連携計画策定料Ⅰを算定することは出来ません。

なお、胃がんの地域連携パスを使用することは可能ですが、連携先の医療機関（開業医の先生方）を受診された際に算定可能な『がん治療連携計画策定料Ⅱ（300点）』

も算定することは出来ません。※パス運用件数はカウントされます。

ただ、ESD入院で適用パスがある際は退院時又は退院した日から起算して30日以内に治療計画が策定出来る場合は算定可能です。

(患者団体連絡協議会・菊井)

アクションプランシート内で、「がん診療連携に係る情報共有」とあるが、これはどんなことをしているか？

(事務局)

後日確認して回答。

【上記回答】

平成28年度の地域連携部会議事要旨を確認したところ、平成28年度滋賀県がん診療連携協議会設置要綱から当部会の担当事項として新たに振り分けられた項目であった。そのため、当部会のアクションプランシートでも平成28年度から追加されている。滋賀県がん診療連携協議会部会運営要領には、「(3)地域におけるがん診療連携にかかる情報の共有に関すること」と記載されており、当時の議事要旨では、「地域連携パスとは直接関係ないが、情報共有に関してはこの部会において、他職種の方と情報交換をしているので、実績となるのではないか」と記録があり、この部会を開催して情報交換をすることが、上記(3)となると考えられている。

(患者団体連絡協議会・菊井)

パスの情報共有以外に、患者がスムーズに地域連携に乗るにはどのような情報共有が必要なのかを話し合っていたきたい。

(事務局)

次回部会の議題に挙げさせていただく。

(患者団体連絡協議会・菊井)

コロナがあり、地域連携がとても大事だと実感した。大きな病院に行かなくても地域のかかりつけ医と連携していると、安心して自分のがん治療を果たせると感じたので、大きな病院と地域のかかりつけ医がどのような情報を共有していけばうまく地域連携が進むのかがとても大事だと考えている。地域連携というのは患者・家族にとってはとても大事だと思うので、多方面から考えてもらえたらと思う。

(大津赤十字病院・辻)

重要なポイントだと思う。現在はパスを中心に動いているが、それに限らずできる限りの情報共有、字面だけではない情報共有の方法を探っていきたい。

(淡海医療センター・吉川 (代理))

現在は、早期胃がんでESDを実施することが多く、是非ESD後のパス適用をお願いしたい。

(大津赤十字病院・辻)

	<p>5大がん地域連携パスWGに議題に挙げてもらうよう取り計らっていきたい。</p> <p>4) その他 (患者団体連絡協議会・菊井)</p> <p>滋賀県がん患者団体連絡協議会 15周年記念講演会開催の案内</p>
--	--

以上のとおり報告します。

令和5年8月1日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

地域連携部会 部会長 辻